



PORSCHE

23. Jun. 2015

Vol.65/15

## ポルシェが 918 スパイダーの生産を終了

### プラグインハイブリッドシステムを備えたポルシェのスーパースポーツカーが 918 台の限定台数に到達

ポルシェ AG（本社：ドイツ、シュトゥットガルト 社長：マティアス・ミュラー）のポルシェ 918 スパイダーが、21 ヶ月の期間をもって、予定どおりにシュトゥットガルト-ツッフェンハウゼンで最後の 1 台の生産を終了しました。しかし、このテクノロジーパイオニア 918 スパイダーは、生産期間を遥かに超えた功績を生み出し、未来のスポーツカーは、918 スパイダーの革新から直接メリットを受け取ることになります。

918 スパイダーは、プラグインテクノロジーを備えた高性能ハイブリッドとして体系的に開発されました。このハイブリッドスーパースポーツコンセプトカーは、2010 年のジュネーブモーターショーでデビューし、圧倒的な支持を受けました。2010 年の夏にポルシェ AG の監査役会が生産開発を承認。2013 年末に市場に導入されたとき、918 スパイダーは、例外なくテクノロジーのパイオニアであった 904 カレラ GTS、959、911 GT1、およびカレラ GT など各時代の究極のスポーツカーと同様に、ポルシェの歴史におけるスーパースポーツカーシリーズの継続の象徴となりました。たとえば、1963 年に、ポルシェは 904 カレラ GTS のために、安定性と軽量デザインを統合するための主要な見本となるスチールとポリマーのボディを開発しました。1986 年の 959 は、電子制御 4WD のスポーツカーへの導入に成功しました。10 年後の 911 GT1 は、市販車にカーボンファイバーテクノロジーを採用するための道を開きました。2003 年には、モノコックとサブフレーム全体がカーボンファイバー強化プラスチック（CFRP）で製造されたカレラ GT が、初の市販車としてデビューしました。

918 スパイダーは、これらのどのモデルよりも、未来のスポーツカーのための先進テクノロジーの開発に力強い推進力を提供しています。主要テクノロジーは、高性能エンジンと 2 つの電気モーターを組み合わせたドライブコンセプトで、その独創的な作動ストラテジーが 918 スパイダーのユニークな側面のひとつとなっています。そこには、効率性志向の走行モードから最高の性能を引き出すモードまで多彩な要件が考慮され、それによって未来の生産開発のために重要なノウハウを提供します。出力と燃費の間に広範なメリットをもたらすために、ポルシェの開発者たちは、合計 5 つの作動モードを設定しました。モータースポーツ同様に、作動モードはステアリングホイールの「マップスイッチ」で作動します。ポルシェは、3 つのドライブユニットとその他のシステムを制御するために、すぐれたハイブリッドテクノロジーを採用して、そこに保存される特性マップとアルゴリズムを作成しました。このテクノロジーは、将来のハイブリッドシステムにも導入されることになります。

このモデルは、空気と水によるリアエレクトリックモーターの 5 つの単独クーリンググループと革新的なハイブリッドクーリングを備えたサーマルマネジメントにおいて、未来のハイブリッドシステムの重要な基礎も築きます。さらに未来への影響の他の例として、ポルシェ 918 スパイダーは、ジェネレーター機能とブレーキのインテリジェントな制御により、他のハイブリッドカーより遥かに大きな運動エネルギーを電気エネルギーに変換することができます。その莫大な回生エネルギーが効率性と航続距離を高めます。ポルシェがル・マン 24 時間レース

で見事なワン・ツーフィニッシュを飾った LMP1 プロトタイプの 919 ハイブリッドには、この回生システムに近いシステムが採用されています。918 テクノロジープラットフォームも、フルカーボンボディ、アダプティブエアロダイナミクス、およびリアアクスルステアリングのような注目に値するソリューションに新しい道を切り開きます。アダプティブエアロダイナミクスとリアアクスルステアリングは、911 ターボ、911 GT3、および 911 GT3 RS などの市販スポーツカーにすでに採用されています。

918 スパイダーは、クラシックポルシェのメリットを具現化し、未来の礎を築きます。一方で、このモデルはパフォーマンスを具現化します。2013 年 9 月に、最高出力 887PS を発生するこのスーパースポーツカーは、ニュルブルクリンク北コースにおける 6 分 57 秒のラップタイムによって、市販タイヤを装着したロードゴーイングカーのラップレコードを樹立しました。それ以来この記録は破られていません。一方で、このモデルは優れた効率性も実現しています。約 3 リッター/100km の燃料消費量によって、918 スパイダーは、新欧州ドライビングサイクル (NEDC) における最もコンパクトな車より低燃費です。この車は、スポーツカー特有のドライビングプレジャーだけではなく、プラグインハイブリッドテクノロジーの経済的な可能性を納得できるような形で好例となっています。

ポルシェは、ハイブリッドスーパースポーツカーの製造工程においても革新的なアイデアを採用しています。ポルシェは、最も厳格な人間工学的条件を満たす組み立てと品質保証において、多数の革新に関連する特許を取得しました。それはポルシェが、革新的な性能のためにプロダクトを遥かに超えた標準を設定していることを示しています。たとえば、すべての組み立て工程で、ワイヤレスツールが使用されています。その好例が Bluetooth 制御のバッテリー駆動スクリュードライバーです。ほぼ無音で作動し、作業場の作業者の適応力を高め、データベースリンクによって、規定トルクを信頼性の高い方法で適用して文書化します。専用に開発された、高さ調節が可能なアッセンブリーエレベータートラックは、2 シーターモノコックの仕上げ用人間工学ツールとして設計されています。ニュータイプのシザーリフトプラットフォームは、140kg の高電圧バッテリーの取り付けを簡便にします。918 製造におけるレザー仕上げと組み立て用テーブルは、人間工学と順応性のベンチマークと考えられています。これは、交換可能なインサートの使用によって異なる部品の製造に使用でき、ステーションサイクルの時間を完全に生かすことができます。このようにしてポルシェは、918 スパイダーの製造工程においても最高の効率性を達成しました。

<本件に関する読者からのお問い合わせ先>  
ポルシェ カスタマーケアセンター 0120-846-911  
ポルシェ ホームページ <http://www.porsche.co.jp>

<本件に関する報道関係の方のお問い合わせ先>  
ポルシェ ジャパン株式会社  
広報室／荒瀬大雅 木内洋治  
〒153-0064 東京都目黒区下目黒 1-8-1 アルコタワー16F  
TEL : 03-5436-5936 FAX : 03-5436-5919

ポルシェ ジャパンプレスサイト <https://press.jp.porsche.com>